

マナーのツボ

講演会場で座るとき



ある企業の行事に招かれたときのこと。ステージに向かって緩やかに傾斜した大きな会場でした。前後の座席は蛇腹に配列されています。私は途中退室する予定だったので、目立たないように後方の通路側に着席しました。

しばらくして帽子をかぶった男性が前の席に座りました。姿勢の良い方で背もたれに寄りかからないため、帽子のツバと頭の位置が視界を遮り、前が全く見えなくなっていました。

こうした会場の座席は、背もたれにぴったりつけて座ればちゃんと前が見えるよう設計されていることが多いようです。浅く腰掛け

帽子はとり深く腰掛けて

たり、腰を立てて背筋を伸ばしたり、前のめりになったりすると後ろの人の視界を遮ってしまいます。なるべく深く腰掛け、背もたれに寄りかかるようにすると、後ろの人に迷惑がかりません。

また、身だしなみとして、帽子はとって座りましょう。女性の場合は、高い位置でのポニーテールやお団子、髪飾りなどにも注意が必要です。雨の日など湿気で広がりやすい髪質の人は、小さくまとめておきましょう。

講演などの会場では、香りのつけすぎ、貧乏ゆすりやため息、舌打ちなどは周囲が不快になるので慎みましょう。傘は前の座席に引っ掛せず、席の下に横向きに置くと、倒れて大きな音を立てることもありません。どんなに立派な会場でも、周りの人への配慮がそれぞれの出席者に求められます。

(ビジネスマナー講師

美月 あきこ)